

朝農跡地に、総合体育館の建設を

提言はしておく。新しい市長に託したい

大庭 きみ子 議員

質問項目

- 1 総合体育施設設置について
2 朝農高校跡地活用について



9月の定例会での質問に、朝農跡地に体育館をつくってはどうか、という答弁をいただいた。その後の検討委員会は怎么样了か。

検討委員会は今までに、2回開催した。総合体育館

の建設は朝倉市としても、長年の課題であり、必要な事業である。

6月に体育協会が要望書を提出し、その回答書には、具体的に検討するとあるが、いつまでに検討するののか。

他の事業や財政計画との整合性を図りながら事務的な結論を出したい。実施時期は総合的に判断するものだと思う。

ぜひ市長の考えを聞きたい。

耐震構造を持ち、防災機能を合わせ持った体育館を建設し、ここに避難できるようにしたい。合併特別債はまだ109億円は残している。辞める前に提言はしておく。体育館建設は9千292人の署名があり、市民の賛同を得ていると考えている。

井本 五男 議員

質問項目

- 1 朝農高校跡地活用について
2 ダム行政について



県有地の譲渡申請がされたが譲渡金額を含めて県の対応はどうか。

私の願いや志を継承してくれる新しい市長に託したい。朝倉市はスポーツに熱心な人が多いが対抗試合や大会ができる施設が少ない。体育館は必要だが、いかに整備していくかでは、まだ検討の余地がある。



今年3月で103年間の歴史に幕

合併した効果として市民が潤えるものを、一つぐらいはつくっていただきたい。

朝倉農業高校跡地活用についてたずねる

一体的な利用による人と緑と交流の拠点に

約6万㎡の鑑定評価がされ、2億580万円が提示された。公的利用ということで減額できないか折衝中である。

移転登記はいつごろになるのか。

3月定例会で議決を受けて4月1日には所有権移転登記をしたい。

※答弁後、県との調整上、4月1日の移転登記は困難な状況になっています

跡地の提案募集の中で基本的に敷地全体を対象とした利用計画で募集されているがどうだろうか。

校友会からの寄付6万㎡と県有地6万㎡の、合わせて12万㎡を一体的に活用していくような事業計画、実施計画等について事業者、団体から募集し、4団体から応募をいただいた。

一般公募について再募集をするということはどういうことか。

今回募集しているものを再募集するのではない。

市民や事業者の中には例えばグラウンドだけとか、バ イオ施設、農地、果樹園だけにとか限って活用したい事業者、団体等を募集し、審査をして決定したい。

今後の実施計画の策定にあたっては、官民が互いに知恵を出し合い協働体制を構築することだが、いつごろに策定できるのか。

市がすることであるが、全体の中で校舎の活用や水田、ビニールハウス、温室等の活用について具体的に広く市民、団体等から応募をいただき、協働でつくることで今募集をしている。



3月で閉校する朝倉農業高校

Q 教育長の教育方針をうかがいたい

A 学校は学校としての機能を発揮したい

柴山 恭子 議員

- 質問項目
- 1 学校教育
- 2 組織づくりについて
- 3 町づくり



Q 日本独特の国づくりの根幹は、長い歴史に培われた伝統や文化、言葉ではなくて習得してきたもの。教育長はどのような方針で子どもたちを教育されるのか。

A 日本人がすばらしい。日本の文化はすばらしい。日本人は正しいことだけを

よしとせず、その行いが美しいかという事を非常に大事にする。いけないことは、いけないこと。理屈は言わずいけないことはいけないこと。ということをしつかり教えることが大事。教育は納得させることが大事だが、理屈なしでいけないことはいけないことというところもあることをきちんと伝えたい。

Q セーラー服の裾がほころび、手首のホックがはずれ、和室に入る時スリッパを脱ぎ捨て、上座下座の区別がつかない、間のないあいさつをする。なぜ注意をされないのか。先生方のひと言ひと言は子供の身に必ずしみこむ。

A 大変申し訳ない姿だ。教師がこれは直すべきだというところは躊躇せず、きちんと伝え直すように指導する。

Q 弁当力がすごいと言われるが、弁当の日等をつくられるか。



もちつき収穫祭(立石小学校)

A 親と一緒に自分の弁当を詰めたりするような機会をつくっていききたい。

浅尾 静二 議員

- 質問項目
- 1 広域観光行政について
- 2 市街地巡回バス実証実験について



Q 観光基本計画を着実に推進するために交流コーディネートセンターが平成20

Q 観光圏整備事業で魅力ある観光地づくりを

A 広い観光エリアで取り組む方向で行きたい

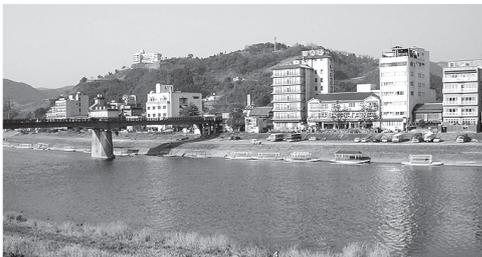
年10月に立ち上がり、多種多様な観光施策に取り組んでいる。施策のスピードを上げるためにも、組織体制の強化を図る必要があると思うがいかがか。

Q 観光客は、大刀洗平和記念館に行き、秋月に寄るとか、日田の豆田町に行き、原鶴に泊まるなど、朝倉市だけではなく広範囲である。観光庁も国内観光客の宿泊旅行回数、滞在日数の拡大を目指し、2泊3日以上の滞在型観光を促進する観光

A 秋月郷土館構想の専門性を持った検討や、観光客の海外からの受け入れシステムなど、多分にセンター長の力量や信頼性に頼っている現状である。スタッフ体制を今後どのようにするか、1年余りを振り返り検討する必要がある。

圏整備事業の提案をしているが取り組みをしてみないか。

A 国も力を入れていてる事業である。広い観光エリアで観光施策を進めるものであり、国からの40%の補助も魅力的である。行政だけではなく、観光協会、宿泊業、お土産店など関連の事業者、地域が何をすべきか考えるきっかけにもなる。周りの自治体、団体の協力など条件が整うならば取り組む方向で行きたい。



滞在型観光のカギを握る原鶴温泉

Q 市民目線に立った総合窓口の実現を

A 市民サービス向上の調整を行いたい

総務文教常任委員会

三重県松阪市 伊勢市 伊賀市

ここをみてきました！ 行政視察を報告します

村上 百合子 議員

- 質問項目
- 1 総合窓口制度の導入について
 - 2 環境対策について
 - 3 子育てサポート事業について



Q 一市民が年に数回しか手続きに訪れない市役所で、満足のいく対応が担当職員にできているのだろうか。
 安心とプライバシーに配慮された市民サービスの実現に向け、お客様を動かさず職員が移動してスピーデ

イーな手続きができるワン

ストップサービス・総合窓口制度の導入を提案する。

①1枚の申請書で複数申請

ができる用紙の作成②受け付けた職員はいさつをし

て氏名を告げ、ネームプレートをきちんとかけて対応

する③受付コーナーに、つ

い立をして番号案内にする等の改善が必要であるが見

解を伺う。

A 申請書の一本化や、つ

い立て設置の受付コーナー等、市民に満足いただける

対応を担当部署と十分話し

合い検討していきたい。

Q 面積が広い朝倉市では、

が見解を伺う。

A 現在の市民課のみのサ

ービス体制を窓口サービス

の試行期間を設けて利用状

況の検証をするよう調整し

ていきたい。

Q 複数の用件がある場合

は、担当職員が交代して対

応する連携体制の充実を図

りながら、たらい回し・無

駄足等の苦情が出ない市民

サービス体制の構築をとつ

ていただきたい。



満足ある市民サービス (写真：岩手県花巻市)

入札制度と住民自治について

三重県を視察

平成21年11月4日～6日

〔三重県松阪市〕

☆参画型コミュニティバス

地域に密着するコミュニ

ティバスの導入は、地域か

らの要望に基づいて行政主

導型で運行するこれまでの

方式ではなく、公共交通を

求める住民の願いを地域が

集約し、市と協議しながら

地域に合った公共交通を検

討するとともに、運行に当

つたっては地域の協力で負担

が前提となっています。

地域自ら支えあう『共助』

の理念で、コミュニティバ

スの導入は『要望型』では

なく、地域からの『立候補制』

による『参画型』の共同事

業となっています。

☆入札改革について

①公正、公平で透明性が

図られ、競争性が高まる制

度談合し難い仕組みづくり

②発注者の公正が確保され

る制度③工物品質が確保さ

れる制度④入札参加者の負

担が軽減される制度を目的

に入札制度改革が行われて

いました。

〔三重県伊勢市〕

☆電子入札システム

平成20年から電子入札シ

ステムの運用を開始し、公

告で示した入札参加資格要

件を満たせば誰でも入札に

参加できる透明性・公正性

が高い制度を採用していま

した。



松阪市にて

行政視察

を報告します。

朝倉市議会では、各常任委員会にて一度先進地で、研修を行っています。

環境民生常任委員会

宮城県多賀城市
青森県八戸市
岩手県花巻市

安心して子育てできる

環境づくりを

平成21年11月18日～20日

宮城県多賀城市では、保健福祉部こども福祉課で、子育てサポートセンターとファミリースポーツ事業について視察研修しました。

平成13年に保育所を民営化した際、職員が従事するサポートセンターを開き、①育児に関する相談②来館時の子ども及び保護者への支援③子育てサークルの支援・育成④広報活動⑤ボランティアの育成⑥6種類の主催事業を運営し、小学校就学前の子育て家庭の仲間づくりや社会参加の機会を提供し、子育て家庭の福祉の増進を図っていました。現在は非常勤の看護師・

アドバイザーを含む5人の職員がたずさわり、平成20年度のファミリースポーツセンターの利用者数は総計1万2千人だったそうです。ファミリースポーツ事業は、平成16年度から行われ、「お子さんを預かってほしい方(利用会員)」と「お子さんを預かることができる方(協力会員)」がそれぞれ会員となり、お互いに信頼関係を築きながら、子どもを預けたり預かったりする子育て支援活動です。ファミリースポーツ事業は、「利用会員」「協力会員」と両方を兼ねる「両方会員」制度があり、20年度の会員364人・利用者1千555件でした。



多賀城市子育てサポートセンター

一番心に残っていることは、職員の熱意と姿勢です。子育てはハッピーでなければならぬと、いたるところに支援の工夫がなされ、問題点があれば改善してありました。

また、岩手県花巻市では総合窓口制度について、青森県八戸市では環境施策についてと「水の流れを電気です返すプロジェクト」について視察研修してきました。

建設経済常任委員会

長野県中野市
飯田市
岐阜県恵那市

市の基幹産業である農業と

観光行政のさらなる活性化を

平成21年10月27日～29日

長野県中野市の売れる農業推進室と同室の職員が2人出向している(財)中野市産業公社の売れる農業の取り組みを視察しました。市の農産物、特産物のギフトカタログを「夏」と「秋冬」2回作成、市民や市にゆかりのある方に、合わせて8千900部配布し、970万円(20年度)ほどの売り上げを上げていました。市長がトップセールスを行い、職員は日々、農家を訪問しコンサルタントを入れずにアイデアを出していました。

『農業に活気を取り戻すことができれば、間接的に他産業へも波及効果が現れる』という考え方と、職員の方から「ぜひ買ってください」とセールスされたことが、印象的でした。次に、長野県飯田市でグリーンツーリズム事業の取り組みを視察しました。市にあるものの再発見を行い、観光資源は「農山村そのもの」として、平成7年に野外体験プロジェクトを開発。平成12年に体験教育旅行の受け入れ先として(株)南信州観光公社を南信州の全自治体で設立し、修学旅行等で子どもたちの体験事業を受け入れていました。自然豊かな田舎が潜在的に持つ「学びの力」「癒しの力」で農山村をステージとした

最後に、岐阜県恵那市で伝統的建造物群保存地区を視察しました。単なる文化的なものではなく、そこに生活する人の香りがする町おこしをしていることに人のやさしさをなぜか感じつつ、視察を終えました。

交流の仕組みを作っていました。農家の方には、ありのままの生活を子供たちに体験させ、親などから来る「苦情」は、農家ではなく公社が全て対応することに、「訪れてよし、住んでよしの地域づくり」の誇りを感じました。

最後に、岐阜県恵那市で伝統的建造物群保存地区を視察しました。単なる文化的なものではなく、そこに生活する人の香りがする町おこしをしていることに人のやさしさをなぜか感じつつ、視察を終えました。



恵那市役所にて